



東っ子供り

令和6年9月17日

第10号

大津町立大津東小学校
校長 太田黒 保宏

校内研修



学校では、年度当初に研究テーマを決めて、計画的に教育実践をしています。全教職員が教育実践を通じて、児童は確かな力（知・徳・体）を身に付けているのか、教職員も指導力向上を図っているのか等、細かな課題を分析しながら実践しています。

昨年度の学力テストの結果から、「書くこと」についてはある程度の成果が見られましたが、「読むこと」と「話すこと・聞くこと」については課題が見られました。また、本年度は1・2年生から全ての学年で複式授業を実施することとなりました。そこで、本年度の研究テーマを次のように設定して、研究を進めることとしました。

「異学年が共に学び合う教育活動の創造
～児童の読解力・表現力を育成する授業づくり～」

です。

6月に実施した5・6年生の国語科授業を皮切りに、7月にはひまわり1組で自立活動の授業を実施しました。5年生では“説明文の要旨”をまとめ、6年生は“説明文の書き表し方などの工夫”に気付き考える授業でした。また、ひまわり1組では、“大津町史跡カルタ”を使った自立活動をしました。どの授業も、子どもたちが主役となって意欲的に学ぶ姿と共に、確かな力が定着してきたことを確認することができました。また、担任と支援員の先生の連携も上手く取れていました。

そして先日（9/11）1・2年生の国語科授業を実施しました。

1年生は“かぞえうた”を作ること、2年生は“ねこやねずみの気持ちを捉え”音読することでした。担任の先生と学習指導支援員の先生の連携もよく、子どもたちは学習のゴールに向かって学び進めました。その際、子どもたちの思考を広げ深めるために、先生たちの質問や指示も的確でした。写真でも分かるように、“分かった時やできた時”子どもたちは自然と笑顔になります。成長している姿を確認して、職員も笑顔になりました。

先生方の研修会を放課後に行いましたが、大好評でした。

これからも、全職員で研修を充実させていきます。



気付いたぞ！分かったぞ！笑顔いっぱい



先生方の研修会



1年生の意見交流



振り返りも意欲的！

HP 閲覧数～(R6)4月～8月迄の集計

週3・4回ほど更新して
学校の様子をお伝えして
います！



	(R6)4月	5月	6月	7月	8月
1日(月)あたり閲覧数	210.6	240.5	372.5	412.9	219.3
当月(期間)閲覧数	6320	7455	11175	12800	6800
累計	242570	250025	261200	274000	280800

大津東小ホームページもご覧ください！

大津東小学校 検索



くまもと早ね・早おきいきいきウィーク

県下の幼稚園・保育園、小学校、中学校等が、8月28日から9月15日までの期間に、一斉に基本的な生活習慣の育成のための取組を実施しました。（※9/13のHPにも掲載）

子どもたちの健全育成についてメディア等でも報道はありますが、本校には関係が無いかと考えていました。しかし、アンケートを取ってみて例に漏れず本校にとっても、たいへん大切なものであるということが分かりました。

実際にテレビ視聴時間等のアンケートを取った結果が、次のとおりです。

- 1 3時間以上テレビを見ている児童・・・約41%
- 2 3時間以上ゲームをしている児童・・・約28%
- 3 平日の就寝時刻が23時以降の児童・・・約13%

この結果は、1年生から6年生までまんべんなく当てはまり、今後の子どもたちの心と体の健やかな成長において気になるところです。この機会に各家庭で子どもたちの生活リズムについて話し合っただきたいと思います。また、子どもがどのようなテレビや動画を視聴しているのか、たまにご確認いただくのもいいかと思います。

- ①早ねをすると、
- ②早おきができ、
- ③朝ごはんも食べ
たくなるよ！



SNS 講話～自分の体に気付く～

9月17日に、SNS 講話をしました。講師は、大津警察署スクールサポーターの國武さんです。そこでは、主に次のようなお話がありました。

- ・大谷選手は、大切な野球のために“睡眠”を中心に生活をしている。ゲーム中心の生活ではいけません。
- ・みんなには健やかに成長して貰いたい。
- ・家庭では、“ペアレンタルコントロールを使うこと”“ルールを家庭で決めること”を守ってほしい。



子どもたちは、イラストや動画を使った講話を聞きながら、しっかりと考えていました。あるイラストは、スマホを使う子どもに、親が勉強をするように促しているものでした。

「こんなことあるかな？」

「よくあります。」

多くの子どもたちから聞かれました。日常生活を振り返った素直な反応です。

また、あるイラストでは、食卓を囲み家族みんながそれぞれの携帯を見ているものでした。

「こりゃ、ダメな家族だ。」

低学年の児童から自然に漏れ聞こえた心の声でした。

そして、次のような質問がありました。

「幸せになりたい人？」

間髪を入れず全員が挙手します。みんなの思いを知り、全職員も笑顔になった瞬間でした。

この他にも課金等を勝手にしないこと、親のカードも触らないことなども学びました。

次に、子どもたちから次のような質問が出ました。

「ゲームの時間は何時間くらいにしたらいいですか？」

みんな身を乗り出して聞いていました。

「睡眠時間を考えると、1時間位がいいと思います。」

最後に5年生のお礼の言葉です。

「自分は毎日YouTubeを見ています。でも21時には止めていて、学校でめっちゃ眠いと言うこともありません。今日の話で、睡眠はとても大切だなと思いました。」

学びが集約されたこの言葉に、子どもたちが大切なことを学んだと知ることができます。あとは、これを日常生活に生かすことです。

厚生労働省の睡眠ガイドには、適正な睡眠時間は「小学生9～12時間」とされています。健康な心と体のバランスをとるために、この機会に各家庭で話し合っただきたいと思います。



「幸せになりたい人？」「は～い！」